



第37期 第2四半期累計期間業績

売上高 1,072百万円 (前年同期比18.8%減)
 経常利益 53百万円 (前年同期比46.6%減)
 四半期純利益 29百万円 (前年同期比43.6%減)

(注) 対前年同期比率につきましては、前年同四半期と会計基準が異なるため参考として記載しております。



平成21年7月
 代表取締役社長
 中山 輝也

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第37期第2四半期(平成20年10月21日～平成21年4月20日)の営業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

KITAC 第37期 中間報告書

平成20年10月21日から平成21年4月20日

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社
 同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

株式会社 **キタック**

証券コード：4707

① 開く 濡れている場合はよく乾かしてからめくってください。

..... 主要事業の内容

当社の業務遂行の基本理念

地域の地形・地質・文化・風土を良く理解し、優れた技術と最新の知的サービスを顧客に提供することで、国民の安全と安心に貢献します。



業務内容

地質調査・試験・解析・評価

- 土質、地質
- 地下空洞及び海底
- 地下水、地熱、地下資源

環境調査・分析・解析・評価

- 環境アセスメント・環境基本計画
- 土壌、地下水汚染
- 埋蔵文化財調査

土木設計・施工管理・構造物維持管理

- 道路、橋梁、トンネル設計・土木構造物、地盤設計・河川、砂防、海岸設計・下水道、ダム設計・防災設計
- 維持点検、補修設計

地域計画・地域おこし、まちづくり

- 都市、公園計画・設計・マスタープラン策定
- 地域開発、地域活性化計画
- GIS及び三次元衛星画像企画、販売

建設及び環境関連機械の販売

- CG制作・広告宣伝等の企画、印刷、出版
- 教育文化福祉健康事業

ホームページのご紹介

ホームページを開設しております。
決算情報や各種IR資料を掲載し、皆様からのアクセスをお待ちしております。



<http://www.kitac.co.jp/>

会社概要 平成21年4月20日現在

名称	株式会社キタック KITAC CORPORATION	役員	代表取締役社長 中山 輝也 取締役副社長 大谷 政敬 専務取締役 小野塚 眞一 常務取締役 鈴木 嘉行 取締役 平野 吉彦 取締役 荒井 進樹 取締役 涌井 正樹 取締役 中山 正子 監査役 坪川 行雄 監査役 安 尻 利 行
設立	昭和48年2月1日		
資本金	4億7,988万5,200円		
従業員数	123名		
取引銀行	第四銀行白山支店 北越銀行古町支店 (本社取引のみを記載)		

業績の概況

当第2四半期会計期間におけるわが国経済は、昨年9月の米国発のサブプライムローン破綻に端を発した金融危機による世界経済の悪化の影響を受けて、株式市場の低迷が続き輸出産業を中心とした企業収益が極めて大幅に減少するとともに、国内外需要の大幅な減少による設備投資の減退や雇用環境の悪化など、景気後退の様相が一段と強まり深刻な状況となってまいりました。その中で当社の属する建設コンサルタント業界の市場環境におきましても、国・地方自治体の慢性的な財政難による発注量の減少が続いており、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

こうした状況の中、当社の第2四半期会計期間の業績につきましては、増加しているプロポーザル方式（技術提案による評価方式）による発注案件への対応強化を図るとともに、引き続き品質向上・コスト削減に全社をあげて取り組みました。

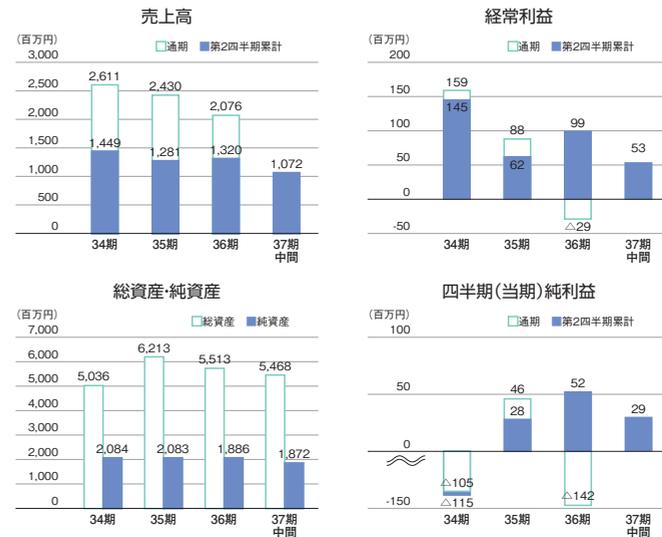
以上の結果、当第2四半期会計期間の業績につきましては、売上高9億1千8百万円、営業利益1億9千1百万円、経常利益1億7千4百万円、四半期純利益1億3百万円となりました。

また、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高10億7千2百万円（対前年同期比18.8%減）、営業利益9千万円（同36.4%減）、経常利益5千3百万円（同46.6%減）、四半期純利益2千9百万円（同43.6%減）となりました。

(注)文中の前年同期比率につきましては、前年同四半期と会計基準が異なるため参考として記載しております。

POSTCARD

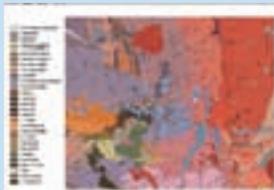
財務ハイライト



TOPICS 安全・安心は専門技術と先端技術でGISを用いた三次元技術

災害に対する安全は防災に関わる専門技術から、安心は地域に住む方々が状況を理解することから生まれます。当社では、一般の方がご覧になっても危険斜面の位置が理解できるように立体図を作成するため、GISなどの先端技術を活用しています。コミュニケーションツールのひとつとして、より分かりやすい立体図(3次元)とGISの開発に努めています。

火山の平面地図



衛星画像



GISにより作成した火山の立体地質図

GISとは
地理情報システム (Geographic Information Systems)の略称で、文字や数値、画像などを地図と結びつけて、コンピュータ上に再現し、さまざまな情報を統合分析などを行い、分かりやすく表現したりすることができる仕組みです。立体地質図は、地質画像を数値化した地図と結びつけて分かり易く表現したものです。